

有機農業実施支援業務委託仕様書

本仕様書は、山添村（以下「発注者」という。）が実施する「有機農業実施支援に関する業務」（以下「本業務」という。）に適用するものとする。

1 業務名

有機農業実施支援に関する業務

2 業務目的

本業務は、「みどりの食料システム戦略緊急対策交付金」を利用して、有機農業への理解を深め、山添村の農業に新たな付加価値と選択肢を与えることで、将来を担う子供達や若い世代、地域住民、山添村に関心のある人などがより広く農業に親しみ、持続可能な山添村の農業の確立に取り組む。

1年目は本州唯一の村立高校である山辺高等学校山添分校と実証農場を拠点に、「YAMAZOEオーガニックスクール」と題し、分校生をはじめ地域内外の農業者、有機農業者、オーガニックの就農を希望する人やオーガニックな暮らしに関心の高い人など、オーガニックの基本から、生産・堆肥・販売について学ぶ合計14回の講座を開催した。そして、講座に参加された方を中心に実証農場で堆肥の使い方や有機農作物の栽培を実践した。2年目は1年目で学んだ農業者を中心に3クラスに分かれて有機農作物の生産を学び、そこで生産したオーガニック食材の学校給食への提供の実践、家庭から出る生ごみや村内にある落葉や酪農場から出る有機物など既存の豊富な資材を活用した完熟堆肥をつくる技術の検証、そこで生産した堆肥を地域農業へ循環する流れの構築、販路の開拓、普及など、様々な取組により将来に持続可能な農業の担い手の育成と、環境に配慮した有機農業の普及に向けた取組により「村まるごとを持続可能で全ての人に優しく夢が持てる山添村オーガニックビレッジ」の構築を目指す。

3 準拠する法令等

本業務は、本仕様書によるもののほか、次に掲げる法令等に準拠するものとする。

- (1)山添村個人情報保護条例
- (2)山添村契約規則
- (3)その他関係法令・規則・通達等

4 履行期間

契約締結の日から令和8年3月13日（金）までとする

5 業務概要

受託者は、本業務の目的及びコンセプト等を十分理解し、有機農業実施支援にかかる業務を行うものとする。本事業は「持続可能な有機農業」を目指すため、有機農業を普及するためのオーガニック講座、栽培のデータベース化、オリジナル堆肥づくり、新たな流通システムの検討、マルシェの開催等、有機農業者が将来に渡り、耕作を継続し、かつ、より推進するための支援を行う。また、農地の継続活用につながるよう、新たな有機農業の担い手を確

保していく。

(1) 「YAMAZOEオーガニック講座」の講座計画業務、講座開催にかかる運営業務、講座開催にかかる募集チラシ作成業務

有機農業志向者を対象としたYAMAZOEオーガニック講座における基礎の学びの継続と、有機農業の講師監修のもと1年目で学んだ基礎を活かし実際の作付けを行う。農業で収入を得るための実際の農場での栽培を行うステップアップ講座を実施。高齢者が有機農作物を栽培し持続可能な農業ができる環境整備へらくらく農法を活用する。令和7年5月～令和8年3月にかけて講座の実施を予定している。

【初級】

土の成り立ち、微生物の役割、作物の基本的な性質についての学び、オーガニックの基本を学ぶ。実際にグループで作物を育てる。生物多様性、食、文化について学ぶ。

【中級】

受講生各自が、実証圃場で、自主的に植栽したい作物の実践し、土地の適性を見極め、どの作物が最適か試作する。市場性のある作物を育成するスキルを学ぶ。畑の土壌改良方法や作物の収穫時期を計画し、収穫までを行う。

【上級】

実践的な農業経営のスキルやマーケティング戦略（販売活動、ブランド化、オンライン販売の方法）を学ぶ。直売所や地域の市場への出荷、協力関係を築くネットワーク作り、実証圃場や市場での研修を通じて、現場での対応力を養う。持続可能な農業の実践方法、カーボンフットプリントの削減方法を学ぶ。

(2) 栽培技術のデータベース化

村内に継承されている有機農業の栽培方法を後世に残すために作成し、教材として活用することを目的とする。冊子100冊とPDFデータを作成。

(3) YAMAZOEオリジナル堆肥作りの実証

山添村内の除草作業などで発生する草や道路清掃で収集する落ち葉、道路隣接地からの倒木や竹などを処理する際に発生する木材チップや竹チップ、村内米農家から発生する籾殻、めえめえ牧場の羊糞など、これらの資源を村内産牛糞と配合し、有機農業に農家が使いたいと思える村オリジナルオーガニック堆肥を専門家監修のもと作成の実証をする（成分分析の実施）。

オリジナル袋の制作50枚、オリジナル堆肥資材20セット、堆肥の研修講義と実習3回、原料割合の策定、発酵管理、品質の見極め等、堆肥づくりの指導業務。

(4) 新たな流通システムの検討

販路の検討（実証実験の実施）。実証圃場等で生産された有機野菜について、村内各地の生産者の有機農産物等を収集（大字ごとに一定の場所に集める等）し、販路に流す仕組みの検討（経費の把握と実用化の検証）。

六次産業化に向けたオーガニック野菜を使った加工品の試作。無人販売（試行的取組）の実証。

(5) オーガニックビレッジとしての広報

情報発信を行っていくための山添村オーガニックビレッジ広報用のホームページ・SNSの制作と更新を行う。

有機野菜の試食会の開催（ソエル等で若い親世代の住民等への試食会や、有機野菜を活用したメニューの検討）。

(6) YAMAZOEオーガニックマルシェ開催

地元の産直施設（花香房）の一部に売り場を作り、有機農産物販売の試行的取組を行う。

看板などの広報物（看板・のぼり）、有機農産物の専門棚を制作し、地元の産直施設（花香房）の一部に売り場を設ける。

6 提出書類

受託者は本業務の着手に先立ち、各工程における作業方法、作業日程について適切な業務実施計画を立案し、予め発注者の承認を受け、下記の書類を提出するものとする。なお、変更する場合も同様とする。

- (1)業務着手届
- (2)工程表
- (3)実施計画書
- (4)その他発注者が必要と認めるもの

7 業務の完了

本業務は、発注者の検査・合格を以って完了とする。その際、訂正等指摘事項があれば、受託者は速やかに訂正を行うものとする。

8 成果品の契約不適合

業務完了後、受託者の過失又は粗漏により不良箇所が発見された場合は、発注者の指示に従い、必要な処理を受託者の負担において行うものとする。

9 成果品の帰属

本業務において使用又は作成した成果品等はすべて発注者に帰属するものとし、受託者は発注者の許可なく使用、流用或いは複製やこれを他に公表・貸与してはならない。なお、既に他に著作権があるものを使用した場合は、この限りではない。また、他より得られた資料や文献等を引用するときには、その出典名を明記することとする。

10 損害賠償

受託者は、本業務実施中に生じた諸事故等に対して一切の責任を負い、これに係る費用は全て受託者の負担とするとともに、発注者に発生原因・経過・内容等を報告し、発注者の指示に従うものとする。

11 個人情報の取り扱い

受託者は個人情報を取り扱う際は、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利・利益を侵害することのないようにしなければならないものとし、受託者が運用する情報セキュリティ等の規定等に従い、情報の漏洩防止及び事故防止対策の措置を講ずるものとする。

1 2 品質管理等

受託者は、適切かつ厳格な品質管理を行うため関係法令、規則等を遵守しなければならない。

1 3 守秘義務

受託者は、本業務の内容及び業務に関わる資料を第三者に漏洩させ、又は当該業務の目的以外に使用してはならない。

1 4 書類の保管

受託者は、本業務完了後5年間、本業務に係る会計帳簿及び証拠書類を、発注者あるいは会計検査院の求めに応じていつでも閲覧に供することができるように保管しなければならない。

1 5 納入場所・納入期限

本業務における成果品および提出書類の納入場所、期限は、次のとおりとする。

(1)場 所：山添村役場 農林建設課

(2)期 限：令和8年3月13日（金）まで

1 6 資料の収集・整理

受託者は、本業務を実施するために必要な資料を収集し、作業を効率的に実施できるように整理するものとする。

1 7 打合せ協議

(1)打合せ協議は、業務着手時、中間時、業務完了時のほか、業務に対し必要に応じて適宜実施するものとする。

(2)打合せ協議が行われた際に、受託者は打合せ記録簿を作成し、発注者の承認を得なければならない。

(3)打合せ協議については、発注者が認めた場合については、リモートによる実施を可能とする。

1 8 疑義

本業務の本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、発注者と受託者が協議のうえ、発注者の指示に従い、業務を遂行するものとする。

1 9 問い合わせ先

〒630-2344 奈良県山辺郡山添村大字大西151番地

山添村農林建設課

有機農業実施支援事業担当：石原、西岡

TEL：0743-85-0046 FAX：0743-85-0472

メール：nouken@vill.yamazoe.nara.jp

有機農業実施支援業務概要

<p>YAMAZOE オーガニック講座</p>	<p>YAMAZOE オーガニックスクール講座開催委託料 【初級】 土の成り立ち、微生物の役割、作物の基本的な性質についての学び、オーガニックの基本の学び。 【中級】 市場性のある作物を育成するスキルを学び、畑の土壌改良方法や作物の収穫時期を計画し、収穫までを行う。 【上級】 実践的な農業経営のスキルやマーケティング戦略（販売活動、ブランド化、オンライン販売の方法）を学び。 ・講師料、運営の人的費（企画、コーディネート、サポート等）、交通費、苗等資材費、機械レンタル費、チラシデザイン、印刷料（3回）</p>
<p>栽培のデータベース化</p>	<p>有機農業の栽培方法の冊子 100 冊、PDF のデータの作成。</p>
<p>YAMAZOE オリジナル堆肥づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル袋の制作 50 枚、オリジナル堆肥資材 20 セット ・堆肥の研修講義と実習 3 回 ・原料割合の策定、発酵管理、品質の見極め等、堆肥づくりの指導業務。
<p>新たな流通システムの検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・販路の検討。 ・六次産業化に向けたオーガニック野菜を使った加工品の試作 ・無人販売（試行的取組）の実証
<p>オーガニックビレッジとしての広報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信山添村オーガニックビレッジ広報用のホームページ・SNS の制作と更新。 ・有機野菜の試食会の開催
<p>YAMAZOE オーガニックマルシェ開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の産直施設（花香房）の一部に売り場を作り、有機農産物販売の試行的取組を行う。 ・看板などの広報物（看板・のぼり）、有機農産物の専門棚を制作し、地元の産直施設（花香房）の一部に売り場を設ける。